

# 目黒区自殺対策計画素案に対する パブリックコメント実施結果

平成31年2月

目 黒 区

# 目 次

## I パブリックコメントの実施結果について

1	パブリックコメントの概要について	1
	(1) 実施期間	1
	(2) 周知方法	1
2	パブリックコメントの集計結果	2
	(1) 提出者数	2
	(2) 分野別意見数	2

## II パブリックコメントの内容と検討結果について

1	パブリックコメントの検討結果一覧	3
2	パブリックコメントの内容と検討結果	4
	(1) 区民意見	4
	(2) 議会意見	7

# Ⅰ パブリックコメントの実施結果について

## 1 パブリックコメントの概要について

目黒区自殺対策計画の策定にあたり、平成30年10月25日から11月24日まで素案に対するご意見を募集しました。これは、平成21年2月25日制定の「目黒区パブリックコメント手続要綱」に基づくパブリックコメントとして実施したものです。この冊子は、お寄せいただいたご意見と、それに対する検討結果をまとめたものです。

なお、ご意見は、原則として全文を掲載していますが、長文にわたるものや多岐にわたるものについては、趣旨を損なわない範囲で一部省略、要約又は分割している場合があります。

また、提出された1件の意見の内容が複数の分野にわたる場合や同様の意見をまとめている場合があるため、提出者数と分野別意見数等の合計数は一致していません。

### (1) 実施期間

平成30年10月25日～11月24日

### (2) 周知方法

- ・めぐろ区報（10月25日号）、目黒区ホームページ
- ・素案閲覧（配布）場所

目黒区総合庁舎1階区政情報コーナー・3階健康推進課、碑文谷保健センター、各地区サービス事務所（東部地区除く）、各住区センター（分室含む）、行政サービス窓口、各区立図書館

## 2 パブリックコメントの集計結果

### (1) 提出者数

区分	書面	FAX	メール	計
個人	0	4	0	4
団体	0	0	0	0
議会	1	0	2	3
計	1	4	2	7

#### 【参考】

職員意見：0件

パブリックコメントとして取り扱わなかったもの：なし

### (2) 分野別意見数

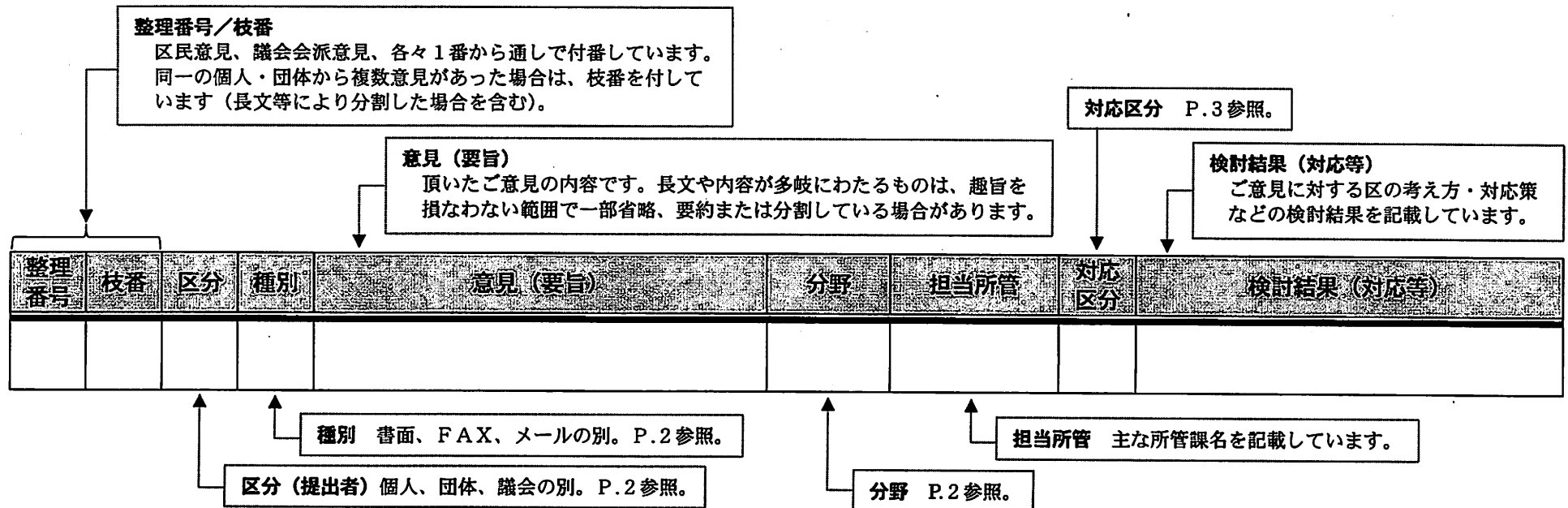
分野		件数	割合
計画全体に関すること		3	15%
全国共通の施策			
1	地域におけるネットワークの強化	1	5%
2	自殺対策を支える人材の育成	1	5%
3	区民への啓発と周知	0	0%
4	生きることの促進要因への支援	2	10%
5	子ども・若者への支援	8	40%
地域特性に基づく施策			
1	働き盛り世代に対する支援	2	10%
2	自殺未遂者への支援	0	0%
その他		3	15%
計		20	100%

## II パブリックコメントの内容と検討結果について

### 1 パブリックコメントの検討結果一覧

対応区分	内容	件数	割合
1	意見の趣旨を踏まえて自殺対策計画素案を修正します。	3	15%
2	意見の趣旨は自殺対策計画素案で取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	3	15%
3	意見の趣旨は自殺対策計画には取り上げませんが、事業実施等の中で趣旨を踏まえて努力します。	12	60%
4	意見の趣旨は、今後の検討・研究の課題とします。	1	5%
5	意見の趣旨に沿うことは困難です。	1	5%
6	その他	0	0%
計		20	100%

#### <表の見方>



## 2 パブリックコメントの内容と検討結果

### (1) 区民意見

整理番号	枝番	区分	種別	意見(要旨)	分野	担当所管	対応区分	検討結果(対応等)
1	1	個人	FAX	「子ども・若者への支援」について。 子ども達からのサインを見逃したために、事故に繋がってしまった事象が多々報道されているので、教育現場の先生方へ一層の教育・指導の強化をお願いしたい。	全国共通 5	教育指導課	3	本区は、目黒区で新規採用された2、3年次の教員を対象に、教育相談の初歩的な知識・技能を習得するための区独自研修を全6回行っていきます。また、目黒区教員人材育成基本方針を策定し、目指す教員像を「専門性と協働性があり、信頼される教員」として示し、教員の資質・能力の向上に努めているところです。
1	2	個人	FAX	「子ども・若者への支援」について。 家庭からの、当該相談に関わる窓口の広報および情報の提供による支援の強化をお願いしたい。	全国共通 5	保健予防課 碑文谷保健センター 教育支援課	2	区立小・中学校の児童・生徒に対しては、学校教育全体を通じて相談することの大切さについて理解を深める指導を行っています。特に、平成30年度からは、「SOSの出し方に関する教育」を実施し、指導の強化に努めているところです。 また、目黒区や東京都の相談窓口を記載したリーフレットを長期休業前に全児童・生徒に配布しています。 さらに保健所では、こどもの問題に悩んでいる家族を対象に、各種相談を実施しています。 今後も区報やホームページ等による情報提供を行い、相談・支援の充実と相談窓口の周知に努めてまいります。
1	3	個人	FAX	「子ども・若者への支援」について。 スクールカウンセラーの派遣を、私学にまで拡大できないものでしょうか。	全国共通 5	教育支援課	5	目黒区では、設置者として、区立小・中学校、区立幼稚園・こども園にスクールカウンセラーを派遣し、学校・園の教職員と連携しながら相談体制を整えているところです。 めぐろ学校サポートセンターの教育相談は、私立学校の児童・生徒及びその保護者にもご利用いただけます。教育相談を担当する相談員は、区立学校のスクールカウンセラーを兼務しておりますので、電話又は来所にてご相談ください。
1	4	個人	FAX	「働き盛り世代に対する支援」について。 企業・事業主との連携強化を推進し、研修および情報の共有を図るなど、更なる未然防止に寄与していただきたい。	地域特性 1	産業経済・消費生活課	2	従業員が安心して働くことのできる雇用環境の整備を推進するため、引き続き東京都労働相談情報センターと連携して、企業・事業主向けのセミナーや相談会等を実施していきます。

整理番号	枝番	区分	種別	意見(要旨)	分野	担当所管	対応区分	検討結果(対応等)
2	1	個人	FAX	目標はあくまで自殺0人ではないでしょうか。	計画全体	健康推進課	3	<p>国は2017年に閣議決定した自殺総合対策大綱において、当面の数値目標として先進諸国の現在の水準まで減少させることを目指し、平成38年までに自殺死亡率を平成27年と比べ30%以上減少させるとしています。</p> <p>ご指摘のように、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現のために、最終的な数値目標は自殺者ゼロであると考えていますが、平成38年までの数値目標として、自殺死亡率、自殺者数を30%以上減少させることを目指して設定しています。</p>
2	2	個人	FAX	<p>いろいろな手だてとしての“配置”は備えられているようですが、このクライアントへの援助として、「物的援助」「法的援助(被暴力の場合など)」「精神的援助(「がんばれ」か「がんばるな」か)の何が有効か、という視点を関係者が十分打合せしておく場が少ないのではないのでしょうか。これを誤ると援助のつもりが逆効果になる場合もありますので、注意が必要です。</p>	全国共通 4	健康推進課	3	<p>自殺対策の基本的な対応として、相手の立場に立って状況を正しく理解し、関係者が共通認識を持った上で連携して支援していく必要があります。ご指摘を踏まえ、適切な支援ができるよう努めていきます。</p>
2	3	個人	FAX	<p>心理学からの研究知見をもう少し取り入れても良いのではないのでしょうか。ただし、それをうのみにするのではなく、そういう見方や方法もあるのかという参考としてです。</p>	その他	健康推進課	4	<p>自殺対策計画の策定にあたり、国は標準的な手順と留意点をまとめたガイドライン(手引)において、既存の事業を最大限に活用し、自治体として全体的な取組とすることを示しています。区としてもガイドラインに沿い、様々な関連する所管の「生きることの包括的な支援」を盛り込み、全体的な取組を進めていきます。</p>
3	1	個人	FAX	<p>自殺の原因を見てみると、その根底には強度な社会を拒絶した精神状態が多く見受けられます。何故社会を拒絶するのか、その原因の多くは、幼少時からの親子の共依存状態にあるのではないのでしょうか。依存症は「自分」というものをなかなか作れないわけですから、そのストレスの処理方法も見付けられず、つぶされていくのは当然でもあります。</p> <p>ストレスを除去する方法での支援も重要ですが、ストレス耐性の強い子を作るという観点から、長期的なスパンで、乳幼児から成人までの間、特に親の立ち位置を明確にするような観点での講座、カウンセリング等の開催などの支援を充実させていく事も必要なのではないのでしょうか。</p>	全国共通 5	保健予防課 碑文谷保健センター	3	<p>依存症に悩んでいる本人および家族に対して、家族が病気を理解し、本人の依存症からの回復を目指すことを目的として、グループ相談や個別相談を実施しています。また、精神的健康の保持向上を図るための講演会や心理士による相談などを行っています。今後も事例検討や職場研修を実施し、職員の相談スキルの向上に取り組み、相談体制や啓発事業の充実を図っていきます。</p>

整理番号	校番	区分	種別	意見(要旨)	分野	担当所管	対応区分	検討結果(対応等)
3	2	個人	FAX	<p>周囲から見て、「問題がない」あるいは「親や先生の言う事も良く聞く子」など言われている子の場合、意外と本人は周囲とのコミュニケーションに苦勞している場合があります。自分の思いを上手に他人に伝える能力を伸ばすことは、自分の意思が社会でどのように受取られるかを知ることにもつながります。自分の居場所が必ず見付かる事を理解できれば、決して死に急ぐ事はなくなると考えます。</p>	全国共通 5	教育指導課	3	<p>ご指摘のとおり、自分の居場所が必ず見付かることを子どもに伝えることが重要です。本素案に示されているSOSの出し方に関する教育は、身近にいる信頼できる大人にSOSを出せるようにするとともに、自分の居場所が必ずあることを理解する教育であると捉え、引き続き進めていきたいと考えています。</p>
4	1	個人	FAX	<p>「計画素案」を熟読すると、申し分のない内容であるが、現実にはどれほど効果を上げているのか疑問を感じる。個々の事案に対して、当事者という意識を持って対応しなければ解決の糸口は見つからないのでは。</p> <p>「自殺対策」「いじめ対策」に一定の効果をあげているのは一般市民の活動ではないだろうか。この件に関する書籍や資料を読むと、民間人の働きに寄与する所が多い気がする。共通するのは、彼らはあくまで「人間」対「人間」の問題として、心から共感を覚え、問題点を解決していくからだと感じる。</p>	計画全体	健康推進課	3	<p>自殺対策の基本的な対応として、相手の立場に立って状況を正しく理解し、責任を持って対応していくことが大切です。</p> <p>今後も適切な支援ができるよう、行政だけでなく関係機関・民間の団体等がそれぞれの役割を担いながら互いに緊密な連携に努めてまいります。</p>



## (2) 議会意見

整理番号	枝番	区分	種別	意見(要旨)	分野	担当所管	対応区分	検討結果(対応等)
1	1	議会	メール	区以外の関係機関への働きかけについて。 既存の事業を自殺対策の観点で強化していただけの内容は分かりやすく、あらゆる不安や困窮に寄り添う姿勢を窺い知ることができました。一方で、区以外の関係機関について、どう巻き込んでいくのかという視点が少ないように見受けられました。区民向けゲートキーパー養成講座の実施や啓発の他に想定していることがあれば教えてください。例えば、自宅介護を行なっている家庭について、関わりの深いケアマネジャーや訪問介護、看護事業者に対してはどうでしょうか。	全国共通 2	健康推進課 保健予防課 碑文谷保健センター	1	ゲートキーパー養成講座は、地域での身近な支え手を育成するために、関連が想定される民生委員・児童委員、ケアマネジャー等へも受講を呼びかけ、地域のネットワークの担い手・支え手となる人材の育成に努める予定です。区民向けゲートキーパー養成講座の講座名及び説明文を一部修正します。
1	2	議会	メール	「計画の推進体制」(p.33)について。 「目黒区地域保健協議会」や「目黒区地域福祉審議会」の記載ですが、どこの誰が関わっているのかを明示していただけないでしょうか。役所の決定過程は誰がどこで何を話し合ったのかが分かりにくく、結果として何をしているのかが分かりにくくなっていると思います。ぜひ、関わっている機関、役職を明示し、分かりやすくしてください。	その他	健康推進課	1	協議会等の構成員を明記するとともに、計画の推進体制に係る記載を修正します。
2	1	議会	メール	自殺対策の数値目標を、国と同様に2015年と比較して30%以上の減少とし、死亡率11.1以下、自殺者数30人以下を掲げていますが、自殺者ゼロに向けたより積極的な目標を示すこと。	計画全体	健康推進課	3	国は2017年に閣議決定した自殺総合対策大綱において、当面の数値目標として先進諸国の現在の水準まで減少させることを目指し、平成38年までに自殺死亡率を27年と比べ30%以上減少させるとしています。 ご指摘のように、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現のために、最終的な数値目標は自殺者ゼロであると考えていますが、平成38年までの数値目標として、自殺死亡率、自殺者数を30%以上減少させることを目指して設定しています。
2	2	議会	メール	地域におけるネットワークの強化について。 自殺や貧困問題などに取り組むNPOなどの機関や組織などとの連携をさらに強化し、対策の具体化に反映させること。	全国共通 1	健康推進課	2	地域におけるネットワークを強化し自殺対策を推進するため、新たに目黒区自殺対策推進会議(仮称)を設置します。様々な関係機関や団体と協力体制の強化を図り、自殺問題に取り組むNPO等との連携も進めていきます。

整理番号	枝番	区分	種別	意見(要旨)	分野	担当所官	対応区分	検討結果(対応等)
2	3	議会	メール	<p>生きることの促進要因への支援について。</p> <p>各所管で、リスクのある人にはきめ細かく対応し連携し取り組んでいくことが示されています。当然で、あるべき姿だと思います。しかし、現状では各課によっては、人手不足による加重負担や職員の長時間労働等が指摘されています。こうした下で、十分な対応ができるのかどうか懸念するものです。きめ細かな対応ができるよう職員体制をつくること。</p>	全国共通 4	経営改革推進課 人事課	3	各所管における自殺対策支援についてきめ細かな対応が可能となるよう、業務フローの改善や業務の標準化・簡素化に取り組み、効果的・効率的な職員体制の構築に努めます。また、職員のワークライフバランスを推進し、長時間労働の是正に努めます。
2	4	議会	メール	<p>子ども・若者への支援について。</p> <p>若い世代の長時間労働による過労死や過労自殺が起きています。若者が気軽に労働相談できる窓口を設け、広く周知すること。</p>	全国共通 5	産業経済・消費生活課	3	国や都は来所や電話によるいつでも気軽に相談できる窓口を設けています。今後も、これらの関係機関との連携を図るとともに、周知方法についてホームページの充実などを検討していきます。
2	5	議会	メール	<p>子ども・若者への支援について。</p> <p>学校現場では、教員の長時間労働が大きな社会問題になっています。教員のこうした事態は、子どもとふれあう機会を奪い子どものSOSのサインも見逃してしまいます。教員が丸ごと子どもと向かい合う時間を増やすために、過重となっている教員の研修や事務的雑務を減らすこと。</p>	全国共通 5	教育指導課	3	現在、教職員の実態の改善や業務内容の見直しなども含め、目黒区として働き方改革の実行に向けたプログラム等の検討を進めています。
2	6	議会	メール	<p>地域特性に基づく施策について。</p> <p>当事者にとって、出向いて相談を受けることはハードルが高く勇気が必要です。また仕事をしている場合は物理的に難しい状況です。気軽にできる夜間の電話相談窓口を設けること。</p>	地域特性 1	健康推進課	3	<p>当事者にとって時間を問わず必要な時に気軽に相談ができることは大切であると考えます。一方で、プライバシーの関係から地元での相談がしづらいケースもあります。</p> <p>困っている方が相談でき、適切な支援につながるができるよう、東京都やNPO等が実施している夜間を含めた相談窓口の周知に努めていきます。</p>
2	7	議会	メール	<p>計画の推進体制について。</p> <p>簡単に体制イメージ表が書かれていますが、イメージが膨らむように協議会等の構成員を記入するなど丁寧に示すこと。</p>	その他	健康推進課	1	協議会等の構成員を明記するとともに、計画の推進体制に係る記載を修正します。

整理番号	枝番	区分	種別	意見(要旨)	分野	担当所管	対応区分	検討結果(対応等)
3	1	議会	書面	<p>これまで、自殺予防の相談窓口は、電話を中心に行われてきましたが、最近の若年層の交流手段は音声通話よりも、スマートフォンを使つてのSNSの活用が圧倒的に多くなっています。そこで、若者の自殺予防として、厚生労働省等はLINEなどのSNSを活用した相談事業を始めました。若者の自殺リスクを低減させるための取り組みとして、LINEなどのSNSを活用した相談の啓発と周知を行うことを要望します。</p>	全国共通 5	教育支援課	3	<p>全国的な傾向として、長期休業明けに子どもの自殺が急増することから、めぐろ学校サポートセンターでは日常の電話相談の他に、平成30年度は「夏の子ども電話相談」を開設し、区立小・中学校の児童・生徒全員に案内を配布するとともに相談することの大切さを伝え、周知を図りました。</p> <p>教育委員会が周知しているインターネットを活用した相談窓口には、東京都の「考えよう！いじめ・SNS@Tokyo」、「こたエール」、「東京都いじめ相談ホットライン」があります。区立小・中学校の児童・生徒全員に、夏季休業等の長期休業の前に、これらの相談窓口の案内リーフレットを配布し、相談の啓発と周知に努めています。</p> <p>今後も引き続き、各種相談窓口について、機会を捉えて周知に努めてまいります。</p>

目黒区自殺対策計画素案に対する  
パブリックコメント実施結果

平成31年3月発行

発行 目黒区

編集 目黒区健康推進部健康推進課  
目黒区上目黒二丁目19番15号  
電話 03(5722)9586